

メトロマニラ立体交差施設建設事業(X)



エドサ～パサイ立体交差

借款概要

承諾額/実行額	4,587百万円/3,533百万円
借款契約調印	1990年2月及び1995年8月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1998年5月及び2000年6月

事業概要

慢性的な交通渋滞が発生していたマニラ環状2号線及び4号線と主要放射線との交差点を立体交差化することによって、同首都圏の道路交通機能を改善し、もって効果的な都市開発を促進するもの。

評価結果

事業実施箇所での交通量は予測値を上回っており、本事業は交通量の急激な増大に有効に対応していることがわかる。また、走行時間についてのインタビュー調査では約80%の人々は走行時間が減少したと回答しており、待ち時間についても、National Research Councilの基準でレベルF（60秒/台）からB（5.1～15秒/台）へと飛躍的に改善していることから本事業は交通緩和に貢献したものといえる。また、本事業は複雑かつ高度な技術を要する立体交差建設であり、エドサの交差点のトンネル建設には特別なデザインと建設技術が適用された。同国ではこのような構造の建設は他には例が無かったことから、本事業を通じ同国への技術移転の効果があったものと思われる。

維持管理については、民間委託の積極的導入も図っており、予算面・人員面で現状特段の問題は生じていない。